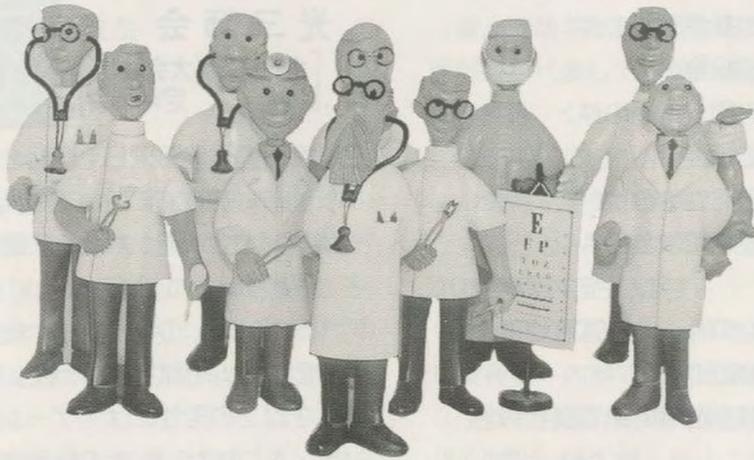


3月号

# 光市医師会報

No 174

## *We are Doctors*



昭和62年 4月発行  
光市医師会

# 医師会月間行事

## S62年3月度理事会

3月10日(土) PM7:30~

於 光市医師会館

### 議 題

1. 光付属小・中学校校医問題について
2. 松岡氏後援会の件 (以上会長より)
3. 結核医療の基準改正の件
4. 光市三師会総会の件
5. 光市国保人間ドックの件
6. 国保保険証の件
7. ムンプス予防注射の件
8. 老人保険連絡協議会の件  
(以上福本理事より)
9. 研修講演会の件 (富恵理事より)
10. 本年度総会について
11. 周南地域救急医療対策協議会報告  
(以上会長より)
12. 3月例会について (福本理事より)

## S 62年 3 月 度 月 例 会 研 修 会

3月24日 於 光市医師会館

### 研 修 会 (ビデオによる)

1. 『救急医療の利用のしかた』  
国立熱海病院院長 渡辺茂夫先生

2. 『脳硬塞は救える』

浜松医療センター副院長

金子満雄先生

### 月 例 会

1. 平岡先生葬儀参列報告
2. レセプト(3月分)の扱いについて
3. 日本医学会出席について
4. 新研修手帳について
5. その他理事会に同じ

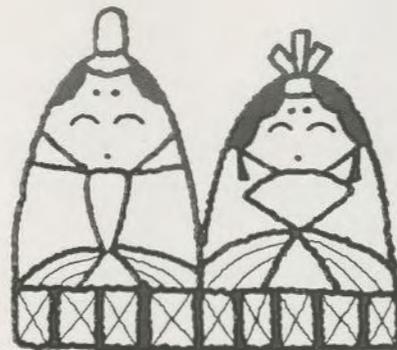
### 光 三 師 会

〔ボウリング大会及び  
定時総会〕



年度末の最終日曜日、3月29日(日)午後より「光ボール」において、光三師会のボウリング大会が開かれた。三師会総勢33名、医師会より12名出席。

「光ボール」の10レーンを全部貸切って、2ゲームで試合を行った。女性、及び60才以上の男性には1ゲーム10点のハンディをつけた。女性の出席者が多く黄色い歓声がひびき、賑やかな試合光景であった。成績は次の通り。(上位10名の合計)



## ☆団体賞

優勝	薬剤師会	1856点
準優勝	医師会	1844点
3位	歯科医師会	1761点

## ☆個人賞（医師会員のみ）

1位	中川先生(光市立)	228点	三師会 で3位
2位	道上先生	203点	
3位	年光先生	199点	
4位	香津先生	193点	
5位	芦田先生	184点	
6位	福本先生	168点	
7位	藤原先生	156点	大波賞
8位	中村(国)先生	155点	
9位	丸岩先生	143点	
10位	渡辺先生	109点	

同日午後6時より、松原屋において光三師会の総会を行った。昭和62年度よりの当番は薬剤師会になるため、三師会長に五郎丸先生を決定、その他の役員を選出。医師会側は前年度と全く同じ。副会長に竹中先生、理事に福本・渡辺両先生、監事に近藤先生留任。

総会終了後、直ちに懇親会に入り、ボーリングの成績発表。

医師会側は、やはり若さで、中川先生・道上先生・香津先生・芦田先生が活躍された。

なごやかな懇談がつづき、宴酣となり、カラオケが飛び出し、丸岩先生・中村国先生・香津先生・藤原先生が次々と美声を披露され、午後8時半終了した。

(福本)

## 謹 弔



3月12日、平岡恒郎先生ご逝去されました。享年58才。謹んで哀悼の意を表します。

## 弔 辞

謹んで故平岡恒郎先生の御霊前に、光市医師会を代表して哀悼の誠を捧げます。

平素は、ジョギングにマラソンにと非常に健康に恵まれた生活を楽しんでおられましたのに、突然の訃報に接し会員一同愕然とするとともに、ただただ深い悲しみを覚えるのみでございます。

先生は昭和30年、熊本大学医学部を御卒業後第一内科で医学研修を積まれ、昭和37年3月より武田薬品徳山工場に、昭和41年より光工場・徳山工場に勤務され、医師衛生管理者として産業医部門に活躍されておられました。その間、昭和37年に学位を受領され、また、山口県産業医学会幹事・日本産業医学会評議員・山口県メンタルヘルス実行委員等の要職に就かれ、山口県産業医会の発展に大きく寄与されておられました。また、昭和57年には山口労働基準局功績賞を、昨61年には労働大臣功績賞を受けられ、その御活躍は産業医会においてめざましいものでありました。

光市医師会内部におきましては、常に温厚でいつも笑顔で会員に接しられ、医師会

行事にも多々御協力・御指導を頂きました。殊に一昨年、光市医師会が山口県医学会を主催致しました時には、非常に積極的に御協力を頂きましたことは私の終生忘れ得ぬ所であります。その他、昨年夏の医師会納涼懇親会におきましては、種々御配慮を頂いたこと等は記憶に新しいところであります。

まだまだこれから産業医活動や地域医療に、真の実力を発揮して頂く折に急逝されましたことは、運命と感じるには余りにも悲しいことでもあります。御家族の御無念もいかばかりかと拝察致し、申し上げる言葉もございません。今はただ、心より先生の御冥福をお祈り申し上げますのみであります。我々光市医師会員は、先生の御遺志を受けつぎ産業医活動・地域医療活動に益々邁進することを誓い、併せて御家族の皆様方の御安泰を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

先生安らかに眠り下さい。

合掌

昭和62年3月14日

光市医師会長 竹中昭二



## 平岡先生の思い出

青天のへきれきと云いますか、あるいは寝耳に水に君の訃報に接し、非常な驚きを覚えますのは私だけではないでしょう。

ともに熊大出身と云う気安さから20年に及ぶお付き合い、とくに私が武田診療所に8年間もお世話様になり、君との交際が深まったのでした。その武田診療所時代には、毎年恒例の忘年会、あるいは武田熊大会等でよく酒席をともにしました。そして、お互いに旧制高校寮歌ばかりに壺声をはりあげて、カラオケを歌ったものでした。また、酒席を早目に切り上げ、ほろ酔い機嫌で麻雀をよくしましたね。そう云えば10年前、滅多にお目にかかれない役満貫の緑一色（オールグリーン）を上がった時の君の嬉しそうな顔が今でも目に浮かびます。つい先日、森院長先生の葬儀の時元気な君と一緒に参列しましたが、あれが最後になるうとは、神のみぞ知ります。

君はもう10数年来のジョギングの信奉者で、よく走っておられるのをおみかけしました。そして、ジョギングの功罪について2人でよくディスカッションしましたね。

なかなか世話好きの好人物であった君には、親しみやすさのなかに何か威厳めいた風格を感じました。でも、どこか熊本に育つ「肥後モッコス」の気風がありましたね、お互い様かもしれません。

以上とりとめのない朴訥の言葉の羅列となりましたが、これがかえって回想文としてふさわしいものでしたら、私の下手な文も生きてくるかもしれません。

平岡先生よ、安らかに!! (中村国雄記)

## 山口県医師会員の 彼岸への告示録 (その3)

大野宗二

2回にわたり、知名人1000人の年齢別・死因別の分析を行い、厚生省発表の人口動態統計との比較を試みた。

今回は、昭和47年より昭和61年までの15年間の山口県医師会員の、各年別・年齢別・死因別について調査してみた。調査の素材は、山口県医師会報に掲載された慶弔死亡告示によった。

### 1、各年・年齢別死亡数

各年の年齢別死亡数は、表1の通りである。死亡総数278名、死亡率の最高は昭和49年の1.56%、最低は昭和56年の0.7%、各年平均死亡率は1.16%である。年齢別にみると、70才代の死亡率が33.45%と最も高く、次いで60才代の24.10%、80才代と50才代では大差はないが、80才代が僅かに多い、60才代と70才代で、死亡の過半数に達しておる。

### 2、年齢別・死因別分類

昭和56年以降は病名の記載が全くないので、昭和47年から昭和55年までの、病名の記載された136名についての分類である。表2に分類成績を示す。循環系疾患が44.1% (60名) で第1位・次いで新生物の20.5% (28名)、第3位・老衰14.7% (20名)、第4位・消化器系疾患6.6% (9名) 等である。

### 3、心臓病と脳卒中

昨年厚生省発表の人口動態統計によると、脳卒中と心臓病の死因順位が逆転、心

臓病、脳卒中を抜いて死因の第2位と報じている。表3に心臓病死と脳卒中死の割合をみると、おおよそ同率であるが僅かに心臓病死が多い。

### 4、医師は早死にか?

職業別の年齢死亡率についての文献を知らないが、医師は早死に(尤も医師側からの発言であるが)の言葉を耳にする。各年の平均死亡年齢を表4に示す。各年とも昭和58年を除いて、男性の平均死亡年齢の74.5才に達していない。この点からみると、早死にと云えるかも知れない。人生80年代には、なお程遠い感がする。

### 5、おわりに

新生物・循環器疾患等の発病年齢等の細部についての分析が残っているが、別の機会にゆずる。全般的に、70才以下の死亡率が高すぎるのではないか。本年、県医が健康診断の枠を250名に拡大した。誠に賢明の策である。日頃、自身の健康をチェックし、長い人生航路の安全を祈る。

今回は、光市の、出来れば周南三市の年齢別・死因別の調査を行ってみたい。

(表1~表4は、次ページに掲載)



表1 各年(昭47~61)年齢別死亡数 (会員数は各年12月末現在数)

年齢	各年	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	計	死亡数対比(%)
30~39才	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0.35
40~49才	1	3	2	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	13	4.67
50~59才	1	3	3	3	3	4	1	1	3	1	6	2	5	3	3	42	15.10	
60~69才	4	3	8	2	5	8	2	3	9	4	8	0	5	0	6	67	24.10	
70~79才	7	4	4	5	3	4	7	6	9	3	4	8	10	9	10	93	33.45	
80~89才	1	3	5	3	1	4	3	2	1	4	2	4	2	5	5	45	16.18	
90~99才	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	3	4	3	1	0	16	5.75	
100才~	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
各年計	15	17	24	14	13	23	14	14	22	12	23	19	25	18	25	278		
各年会員数	1517	1517	1532	1543	1552	1574	1606	1649	1662	1694	1719	1789	1807	1831	1840	23832		
各年会員数対比(%)	0.98	1.12	1.56	0.90	0.83	1.46	0.87	0.84	1.32	0.70	1.33	1.00	1.38	0.98	1.35	1.16		

表2 死因の告示された136名の年齢別・病名別分類

年齢	感染症		新生物					代謝	循環系疾患							呼吸器疾患		消化器疾患		泌尿系	損傷	老衰	計	%								
	肺炎	肺結核	胃腸癌	肝臓癌	食道癌	肺がん	脾臓	その他の癌	糖尿病	敗血症	心不全	心筋硬塞	狭心症	脳出血	くも膜下出血	脳硬塞	脳軟化症	脳血栓症	その他	肺気腫	喘息	肺せんい症			潰瘍	肝硬変	肝臓炎	膵炎	腎不全			
40~49才			3	1							1	3		4																	12	8.8
50~59才	1		1		1	1	1			3	2		2							1	1		2				1	2		19	13.9	
60~69才			4	1	2	1	2	1	1	5	4		4	1	1	1				1		1	1	1	1	1	1	1		35	25.7	
70~79才	4	1	1	3	2	1	2	3		4	6		4	1	1	3	2						1	1		1		2		43	31.6	
80~89才										2					1	3	1	1				1						13		22	16.1	
90~99才																											5		5	3.6		
100才~																													0			
計	7			28				2	1				60							3			9			3	3	20	136			
%	5.1			20.5				1.4	0.7				44.1							2.2			6.6			2.2	2.2	14.7				

表3 心臓病と脳卒中(昭47~55)

病名	心臓病 (心不全・心筋硬塞等)	脳卒中 (脳出血・脳硬塞等)
死亡数	30	29
死亡数136名対比%	22.0	21.3

表4 各年平均死亡年齢

各年別	昭四七年	四八年	四九年	五〇年	五一年	五二年	五三年	五四年	五五年	五六年	五七年	五八年	五九年	六〇年	六一年
死亡数	15	17	24	14	13	23	14	14	22	12	23	19	25	18	25
平均死亡年齢	72.2	64.5	69.7	71.7	64.3	67.0	71.0	67.5	68.2	72.7	69.4	76.2	71.1	75.3	71.1

# うちかたの先生

香津美知子先生  
編



光市立病院唯一の女医、香津先生。こちらの病院へこられて早9年近い。誰とでも気軽に話をされ、そして女性同士の話にも仲間になって話をされることもあり、とても気さくな先生です。

患者さんの話を聞かれる時も「フーン」「ハ、ハ」「フーン」とうなずきながら、女性とは思えぬ程てきぱきと患者さんに説明をされています。ある時、患者さんの診察中（どんな患者さんが想像して下さい。）その患者さんがドスのきいた声で話し、又先生もドスのある声で会話が進み、無事診察が終了。患者さんが帰られた後、足がガタガタふるえてました等というエピソードもあるとか……。とにかく、外来診察・検査にと、毎日忙しいスケジュールをこなされています。

入院患者さんにも、時間にとらわれることなくこまめに回診され、患者さんも先生の回診時間を覚え、その時間頃にはベット

に休み、先生のこられるのを今か今かと待っている人も多いとか。

又、深夜でも気がるに電話に出られるので、看護婦さん達も安心して仕事に専念できるのではないのでしょうか。

先生も仕事を離れると、趣味も多種多様。釣りにも時々行かれ、大物はつれなくても小物でがまんがまん……。お酒の席でのカラオケも上手。ソプラノで歌い聞いている人達をうっとりさせ、次の人が歌いにくい程。

家に帰れば2児の母親。最近では下半身の肉付きも良くなられたようだが、あまり肥えると身体に悪い。市立病院の健康体操へおさそいしては……。朝は特に弱い（低血圧かな）とかで、忙しい毎日。これからも、光市民・女性の代表として頑張ってください。

## あとがき

3月号が大変おくれて、申し訳ございません。もう4月になるのに3月号とは……。というお叱りを受け、大変イライラしました。

その上、大野先生の『知名人の彼岸への告示録（その2）』を間違っていました。度重なる不手際、誠に申し訳ございません。

来月号より2年目となり、何か変化を求めています。どうぞ、御意見をお待ちしております。

お暇な折には書斎でエッセーなど書いて投稿する格好のよいドクターになって下さい。 梅田

医師会月報行事の  
 1. 1987年1月1日  
 2. 1987年1月1日  
 3. 1987年1月1日  
 4. 1987年1月1日  
 5. 1987年1月1日  
 6. 1987年1月1日  
 7. 1987年1月1日  
 8. 1987年1月1日  
 9. 1987年1月1日  
 10. 1987年1月1日  
 11. 1987年1月1日  
 12. 1987年1月1日  
 13. 1987年1月1日  
 14. 1987年1月1日  
 15. 1987年1月1日  
 16. 1987年1月1日  
 17. 1987年1月1日  
 18. 1987年1月1日  
 19. 1987年1月1日  
 20. 1987年1月1日  
 21. 1987年1月1日  
 22. 1987年1月1日  
 23. 1987年1月1日  
 24. 1987年1月1日  
 25. 1987年1月1日  
 26. 1987年1月1日  
 27. 1987年1月1日  
 28. 1987年1月1日  
 29. 1987年1月1日  
 30. 1987年1月1日  
 31. 1987年1月1日  
 32. 1987年1月1日  
 33. 1987年1月1日  
 34. 1987年1月1日  
 35. 1987年1月1日  
 36. 1987年1月1日  
 37. 1987年1月1日  
 38. 1987年1月1日  
 39. 1987年1月1日  
 40. 1987年1月1日  
 41. 1987年1月1日  
 42. 1987年1月1日  
 43. 1987年1月1日  
 44. 1987年1月1日  
 45. 1987年1月1日  
 46. 1987年1月1日  
 47. 1987年1月1日  
 48. 1987年1月1日  
 49. 1987年1月1日  
 50. 1987年1月1日  
 51. 1987年1月1日  
 52. 1987年1月1日  
 53. 1987年1月1日  
 54. 1987年1月1日  
 55. 1987年1月1日  
 56. 1987年1月1日  
 57. 1987年1月1日  
 58. 1987年1月1日  
 59. 1987年1月1日  
 60. 1987年1月1日  
 61. 1987年1月1日  
 62. 1987年1月1日  
 63. 1987年1月1日  
 64. 1987年1月1日  
 65. 1987年1月1日  
 66. 1987年1月1日  
 67. 1987年1月1日  
 68. 1987年1月1日  
 69. 1987年1月1日  
 70. 1987年1月1日  
 71. 1987年1月1日  
 72. 1987年1月1日  
 73. 1987年1月1日  
 74. 1987年1月1日  
 75. 1987年1月1日  
 76. 1987年1月1日  
 77. 1987年1月1日  
 78. 1987年1月1日  
 79. 1987年1月1日  
 80. 1987年1月1日  
 81. 1987年1月1日  
 82. 1987年1月1日  
 83. 1987年1月1日  
 84. 1987年1月1日  
 85. 1987年1月1日  
 86. 1987年1月1日  
 87. 1987年1月1日  
 88. 1987年1月1日  
 89. 1987年1月1日  
 90. 1987年1月1日  
 91. 1987年1月1日  
 92. 1987年1月1日  
 93. 1987年1月1日  
 94. 1987年1月1日  
 95. 1987年1月1日  
 96. 1987年1月1日  
 97. 1987年1月1日  
 98. 1987年1月1日  
 99. 1987年1月1日  
 100. 1987年1月1日

主夫の式はさ  
 主夫千賀実業  
 光市医師会  
 光市御崎町  
 中村印刷株式会社

光市医師会  
 光市御崎町  
 中村印刷株式会社

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社